

### 1、園の教育目標

本園は、学校教育法に基づき、キリスト教の愛の精神をもって、一人一人を大切にし、成長しつつある幼児に清らかな宗教環境を与えることによって心身の発達を援助し、健全な人格を持った愛情豊かな子に育てる教育につとめています。子ども自身が持っている創造性や成長する力を引き出すことこそ、教育の本質であると考えています。子どもは“遊び”を通して様々なことに興味や関心を持ち、また、自己表現や人とのかわりの知恵を体験的に学びながら、人間としての基本的なことを身につけていきます。幼な子にとって“遊び”は大切な“学習”の場です。このことを重視し、“遊び”を大切にされた保育を行っています。

保育理念として次の7項目を掲げています

- ・思いやりのある子
- ・自分の思いが伝えられる子
- ・ちょっとしたことでへこたれない子
- ・豊かな感情を持った子
- ・人の話を聞くことができる子
- ・やってみようという気持ちが持てる子
- ・挨拶のできる子

### 2、本年度、重点的に取り組む目標

保護者や地域の実情を踏まえ、幼稚園が今何を求められているかを考えながら、当園のできることを職員間で話し合い、意義ある子育て支援事業や預かり保育事業を行うとともに園からの情報発信をしていく。又教師の資質向上を高めていくことに努力する。

### 3、評価項目の達成及び取組状況

子育て支援の取組
地域の子育てセンターとしての機能を果たす意味から地域や保護者の実情や要望に応え、保護者が親として育ち、子どもを育てることを楽しむことができるように支援している。就園前の子供の様子や親がどのような悩みを抱えているかを子育て支援担当者から聞き、園ができることを全教師で話し合っている。
保護者や地域への情報提供の取組
幼稚園と保護者が、協力・連携して子どもを育てていくために 親が子育てに不安や悩みを感じていることが多くなっていることを踏まえ、園での子どもの生活する姿や活動の様子、指導のねらい、教師の思いなどを発信し、幼稚園に関する情報提供や園の公開保育を行っている。地域の行事にも積極的に参加したり、園児が地域の人達と過す機会をつくることで、人と係わる力が身につくように努力している。

教師の資質向上の取組（教師間の公開保育、授業研究の実施）
保育のねらいや内容が適切であったか、環境の構成、幼児の理解、幼児の活動に沿った援助が適切であったかなどは、自分ひとりだけでは、難しいことがあるので、ビデオに撮って全教師で意見交換をしたり、研究テーマを決め、記録や実践事例から園内研修として話し合う時間を取っている。
預かり保育の取組
保護者の実情や要望、園や教職員による受入れ体制や通常保育との関連、幼児の負担などを考慮に入れ、家庭との連携を密にし預かり保育を充実したものにしている。学期毎に 預かり保育の状況・利用園児の様子等について話し合いの時間を持ったり、クッキングや制作あそびなども取り入れ、保護者のアンケートから 親も子どもも喜んでいるという声を多く頂いた。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	子育て・親育てに必要な世の中、見えない所で努力されている。先生達は、クラスの保育以外に各項目において熱心に取り組まれたことに頭の下がる思いである。これからも未来ある子供達の為、保育向上に向け努力される事を期待している。

#### 5、今後取り組むべき課題

幼児教育にとって、教師の持つ資質・能力・人間性などが子供に与える影響は大きいことを踏まえ、教師としての専門性を磨くとともに保護者や地域と係わる力、柔軟な考えと行動力を培うことを今年度の目標とする。

評価項目として

- ・教師としての質の向上の取組
- ・地域社会との係わりの取組
- ・園内の環境である自然・遊具・教材に関する研究の取組
- ・保護者への対応の取組

#### 6、学校関係者評価委員会の意見

今年度は、3回委員会を実施した。各クラスの保育参観や評価委員会以外にもたくさんの方の行事に参加して頂き、実際に園児と触れ合うことで、ご意見や感想を頂いた。各教師が熱心に評価項目に取り組み、この一年で教師達に成長がみられた。そして先生達の笑顔・言葉かけが良いという意見を頂いた。

#### 7、財務状況

公認会計士監査より、適正に運営されていると認められている。